



# ちぎゅう 見聞録

～ 香大生 around the world ～

佐藤わか葉  
さんは  
見た！

## Vol. 62 韓国



ハンパツ大学は、学業に集中できる環境が整っており、試験期間には大学全体で学生をサポートする体制が充実していました。

また、大田という都市は自然が豊かでありながら、都市としての利便性も兼ね備えており、とても過ごしやすかったです。地域の祭りやイベントも多く開催されており、学外でも韓国の文化や人々との交流を楽しむことができました。

◎創造工学部 創造工学科 情報コース  
3年生

◎2025年8月から12月まで  
JASSOの「対話×GC×GC」プログラム  
で韓国・ハンパツ大学に留学



### 韓国

【首都】ソウル  
【面積】5765km<sup>2</sup>（三重県とほぼ同じ）  
【人口】約5,177万人（2023年）  
【言語】韓国語（公用語）  
【宗教】プロテスタント（20%）  
仏教（16%）、カトリック（8%）  
無宗教（56%）（2015年）

私の留学目的は、情報分野で学んでいる知識が教育現場や学習支援にどのように関わり得るのかを、海外の大学での教育環境や学生の学び方を通して実際に体験することです。

留学先では、人工知能やデータ活用に関する授業に加え、情報通信工学科の研究室訪問にも参加しました。また、日本語学科の授業や学術祭活動にも関わることで、専門分野だけでなく、教育の現場や学生の主体的な学びについて多角的に学びました。



ECLC ECLC (English Conversion Language Club) という、他の留学生と韓国大学生が交流するプログラムにも参加しました。交流は主に英語で行われるため、韓国にいながらさまざまな国の文化や言語に触れることができる良い機会でした。



日本語学科の学術祭を観覧した際の写真です。今年は日本のドラマ「ごくせん」を題材にした日本語による演劇やコントが行われていました。本番以前に行われていた練習にも何度か足を運び、発音練習を少し手伝うなど、準備の様子を間近で見る機会がありました。

その過程で日本語学科の学生と関わるが多くなり、日常的な交流を通して韓国語で会話する機会も増えました。学術祭をきっかけに学内での交流が広がり、留学生活の充実につながったと感じています。